



遺跡から発掘されたモノはどのように保存されるのかな？



【発掘されたモノはどうなるの・・・？②】

今回も前回に引き続き、発掘されたモノがどのようにして、保存されていくのかについてお話します。今回は「実測^{じっそく}」についてです。

まず、「実測」とは、遺跡等から発掘されたモノの大きさや形、表面の細かな文様などを図面に書いていく作業のことです。具体的には大きな三角定規を机と垂直に立て、遺物の大きさや形を測っていきます。「写真を撮ればすむじゃないか。」と思われるかもしれませんが。もちろん写真も撮るのですが、写真だけでは光の加減で写りにくい文様があったり、モノの形の微妙な角度が分かりにくい場合もあるのです。

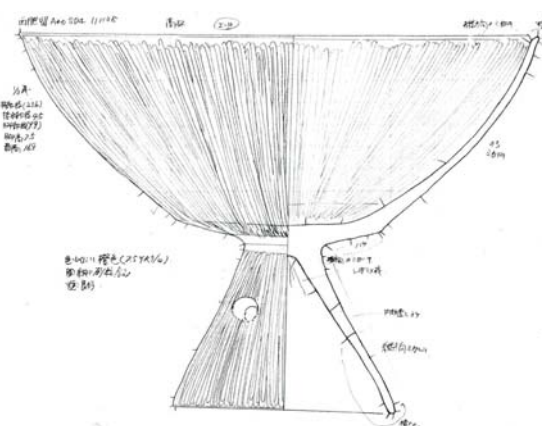
そのため、実測を行うときにまず発掘されたモノをよく観察することが必要です。たとえば土器なら、ただ「土器」として見るのではなく、その土器をつくった人の跡がどこに残っていないか、目をこらしながら細かな部分まで観察します。表面の文様などはもちろん、ろくろの跡が残っていることもあります。このろくろの跡ひとつでも、この土器がつくられた時代の技法が分かったり、それをもとにして、この土器がだいたいいつぐらいにつくられたものなのか推定することもできます。小さな線のひとつでも、古代の人々が何らかの意図をもってかいたのかもしれない。

そして、実測の結果を図面にかいていきます。それを実測図^{じっそくず}といいます。この実測図をもとに実際に遺跡の報告書^{とうしや}にのせる図を作っていきます。トレース（透写）という作業でモノの図をかき、報告書にのせるのです。

このように実測は前回お話しした接合^{せつごう}と同様に、大変な労力と根気が必要な作業です。「はにわ館」の入口の右手にたくさんの報告書が置いてあります。ぜひ一度手にとって、実測された図をみてください。とてもこまかな部分まで記録されていて、きっと驚かれるとおもいますよ。（担当）



モノの大きさや形を測ります。



完成した実測図

【はにわ館企画展のお知らせ】



文化財センター はにわ館 & ギャラリー 4月の催し物予定

4月の休館日は、7日（月）、14日（月）、21日（月）、28日（月）です。

開館時間は9時～17時です（入館は16時30分まで）。

【はにわ館】 入館料 100 円（18 歳以下無料）

第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」

第2展示室 ■学習支援展示「大昔のくらし」 4/12（土）～6/1（日）

第3G ■展示説明会 4/12（土）13:30～14:30

【ギャラリー】入場無料

第1G ■NTT OB 趣味の作品展 4/4（金）～4/6（日）※最終日は15:00まで

第1・2・3G ■第11回合同水墨画展 4/8（火）～4/13（日）※初日は正午から、最終日は15:30まで

第1G ■嬉野公民館水彩画グループ合同展 4/16（水）～4/20（日）※最終日は15:00まで

第3G ■ギター製作者 中出版蔵展 4/19（土）～4/20（日）※初日は13:00から、最終日は16:00まで

第1G ■田川比呂子 個展 4/23（水）～4/27（日）※最終日は16:00まで

第2・3G ■草月流 玉置社中 いけばな展 4/26（土）～4/27（日）※最終日は16:00まで



バーコード読み取り
（文化財センター情報）

【発行】松阪市文化財センター 【電話】0598-26-7330 【サイト】<http://www.city.matsusaka.mie.jp/>